

■利用時間 午前9時30分～午後7時
 ■定例休館日 毎週月曜日〔祝日の場合は翌日〕
 図書整理日〔月末日（土・日・月曜日の場合は翌日）〕



新着コーナー

◇一般書◇

『我二救国ノ策アリ』

仁木英之 著／幻冬舎
 黒船が襲来し、異国の脅威にさらされた幕末の日本。そこには、国防のためにすべてを捧げた異端児・佐久間象山がいた。向かうところ敵だらけの中、突飛なアイデアを連発し、国を守ろうと考えるが・・・。

『64』

横山秀夫 著／文藝春秋
 昭和64年に起きたD県警史上最悪の重要未解決事件をめぐり、刑事部と警務部が激しく対立する。その狭間に落ちた広報官・三上義信は己の真を問われる。長編警察小説。

『フランス組曲』

ル・ヌ・ネのワキ 著、野崎歓 訳
 ／白水社
 1940年の夏、ドイツ軍の進撃を控えて大挙して避難するパリの人々。占領下で緊迫した日々を送る田舎の住人たち。それぞれの極限状態で露わとなる市井の人々の性（さが）を描いた長編小説

『衣もろもろ』

群ようこ 著／集英社

『世界しあわせ紀行』

エリック・ワイナー 著、関根光宏 訳／早川書房

『夜蜘蛛』

田中慎弥 著／文藝春秋

『あの頃の空』

佐江衆一 著／講談社

『少しだけ、おともだち』

朝倉かすみ 著／筑摩書房

『もののみごと』

田中敦子 文、湊忠之 撮影／講談社

『耐震・制震・免震が一番わかる』

高山峯夫、田村和夫 共著／技術評論社

『旧暦で楽しむ着物スタイル』

さとうめぐみ 著／河出書房新社

おはなしの会

日時 毎週土曜日
 12月1・15・22日(土) 午後2時～
 8日(土) 午前10時30分～
 場所 図書館内・おはなし室

◇児童書◇

『博物館の一日』

いわた慎二郎 作・絵／講談社
 恐竜の化石やハチ公のはく製など、様々なものが展示されている博物館。そこで働く研究者はどんな仕事をしているの？大きなものの展示はどのようにするの？国立科学博物館をめぐる楽しい一日を絵本で再現！

『テディ・ロビンソンとサンタクロース』

ジョン・G・ロビンソン 作・絵、小宮由 訳／岩波書店
 クリスマスイブに、なんとサンタクロースがあらわれます。そして、何年も前に、テディ・ロビンソンがデボラの家に来たときのことを語ってくれます。おかしくて、かわいくて、あったかい6つのお話を紹介。

『からっほのくつした』

リチャード・カーティス 作、レベッカ・コップ 絵、
 木原悦子 訳／世界文化社
 そそっかしいサンタさんがプレゼントを間違えました。夜中に起きて、プレゼントが姉のくつしたに入っていないことを知った妹は・・・。ちょっぴりドキドキするクリスマスのお話。

『メガネくんのゆめ』

いとうひろし 作・絵／講談社

『ふたつの月の物語』

富安陽子 著／講談社

『仏像がわかる絵事典』

瓜生中 監修／PHP研究所

『ちょっとだけまいご』

クリス・ホートン 作、木坂涼 訳／BL出版

『おたんじょうび、おことわり？』

ポニー・ベッカー ぶん、ケイディ・マクドナルド・デントン え、
 横山和江 やく／岩崎書店

展示コーナー

一般テーマ 『年末年始』

今年も残すところあと一ヶ月になりました。大掃除に年賀状作り、おせちの準備等でたいへんですね。そんな年末年始に役立つ本を集めてみました。

児童テーマ 『クリスマス』

楽しいクリスマスがやってきます。でもクリスマスって本当はどんな日なのかな？サンタさんて、どんな人なの？お話の中から答えを見つけてみてくださいね。